

**小中学生を対象にした  
精神科デイケアの取り組み  
～子どもデイケアの概要や統計、転帰について～**

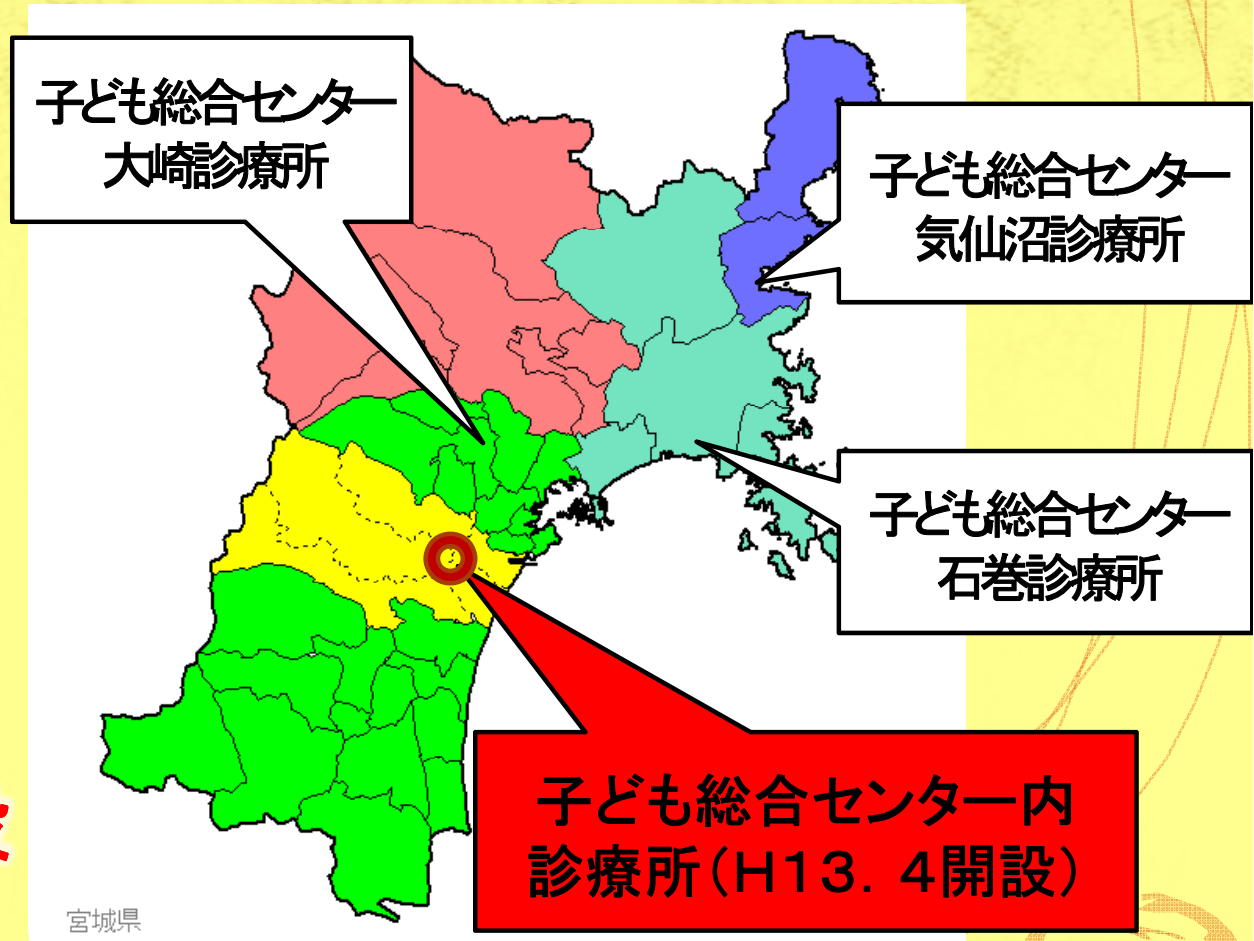
宮城県子ども総合センター

療育デイケア班

佐藤 博樹

# 宮城県子ども総合センター

## メンタルクリニック活動



子どもデイケア  
平成15年9月開設  
(現在8年目)



# 宮城県子ども総合センターの診療体制

- クリニック班

精神科医	3名	(デイケア担当1名)
保健師	1名	
臨床心理士	2名	

- 療育デイケア班

看護師 (保健師)	1名
教師	1名
臨床心理士	1名
作業療法士	1名
保育士	1名



# 子どもデイケアの始まり

- クリニックの利用が増加し， 外来診療と合わせて心のケアを行える治療ユニットとして開設。

## 【対象】

- 精神医療機関に通院中の， 6歳から15歳の小・中学生。
- 不登校や広汎性発達障害等により集団生活や対人関係に不適応を示している者。





# 通所者の診断名と人数（平成20～22年度）

診断名	H20	H21	H22 (12月現在)
不安障害	8	6	6
適応障害	6	3	2
P T S D		1	1
強迫性障害	1	1	
解離性障害	1		
身体表現性障害			3
神経症			1
アスペルガー障害	1		
広汎性発達障害	1		
統合失調症			1
選択性緘黙	2	1	1
その他			1
計	20	12	16

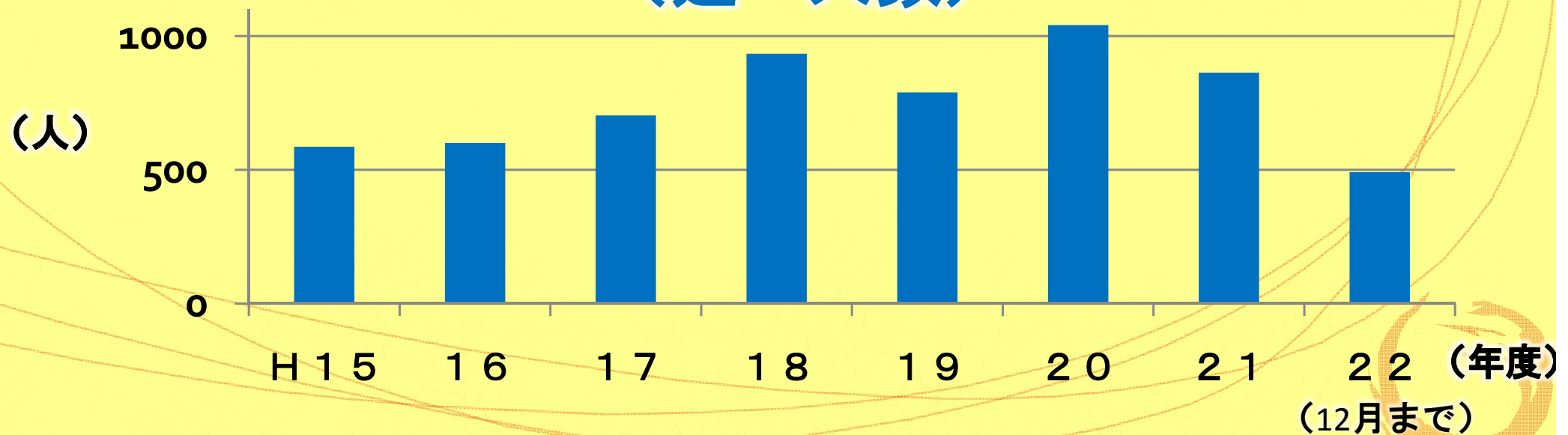


# 子どもデイケア利用者数の推移

(登録数)



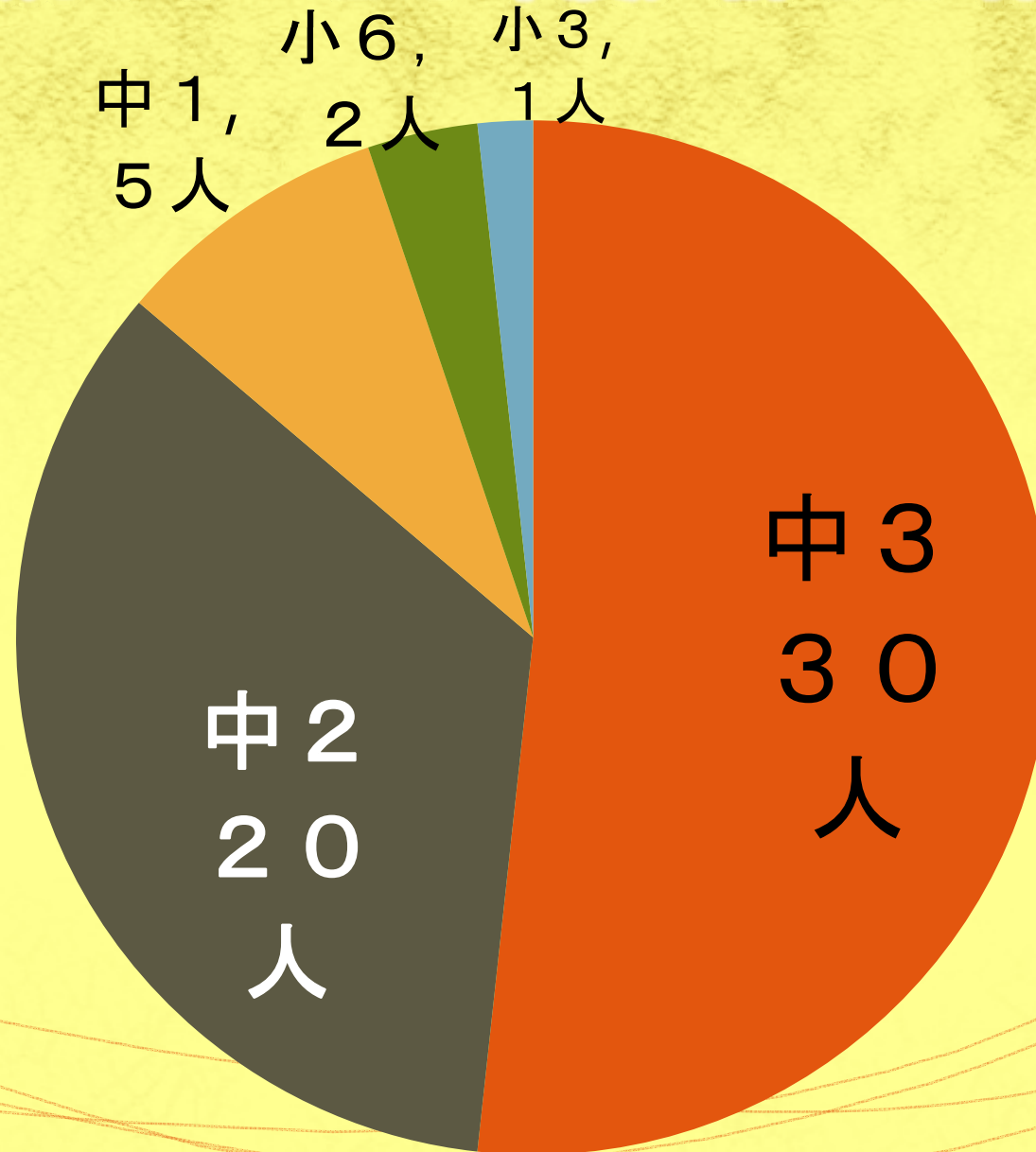
(延べ人数)





# 利用者の学年

(平成19~21年度) 計58名



# 子どもデイケアの治療目標

- 受容的雰囲気作り（居場所としての存在）
- 自分らしさを見つけ、対人関係の回復
- 家族支援
- 学校や関係機関とのネットワーク構築

子ども  
デイケア

治療

発達を支える

適応的变化を促す



# プログラムの3つの柱

- 身体的活動
- 心理的活動
- 作業的活動



# 子どもデイケアの治療プログラム

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9:30 10:00	各自通所		評価会議	各自通所	
	朝のミーティング		スタッフ会議	朝のミーティング	
12:00 13:30	集団精神療法 ヨガ 実験クラブ	集団精神療法 ポケットタイム (SST)	事例検討会  家族の集い (年4回)	集団精神療法 くつろぎサロン (作業活動)	集団精神療法 おにぎりクラブ (調理) 園芸クラブ サークル活動
	昼食		学校関係者 説明会 (年2回)	昼食	
	学習(個別) 音楽クラブ トーキング タイム	学習(個別) 音楽クラブ  運動クラブ	家庭訪問・学 校訪問 (必要時)	学習(個別) 所外・季節行 事(月1回)	学習(個別) ボランティア 活動
	帰りのミーティング			帰りのミーティング	
16:30	スタッフカンファレンス			スタッフカンファレンス	
	記録整理			記録整理	





2009/2/10  
**デイルーム**



**いやしルーム**



**卓球台**



**プレイルーム  
(学びの時間)**



## 作業活動

「おにぎりクラブ」



じゃがいも畑

「実験クラブ」

「くつろぎサロン」



染色（巾着作り）

## 心理的活動

「ポケットタイム（SST）」

「トーキングタイム」



SST



# 身体的活動

「運動クラブ」

「リラックスタイム」



グランド  
ゴルフ



ヨガ

月1回の活動

「所外・季節行事」

「ボランティア

活動」



潮干狩り

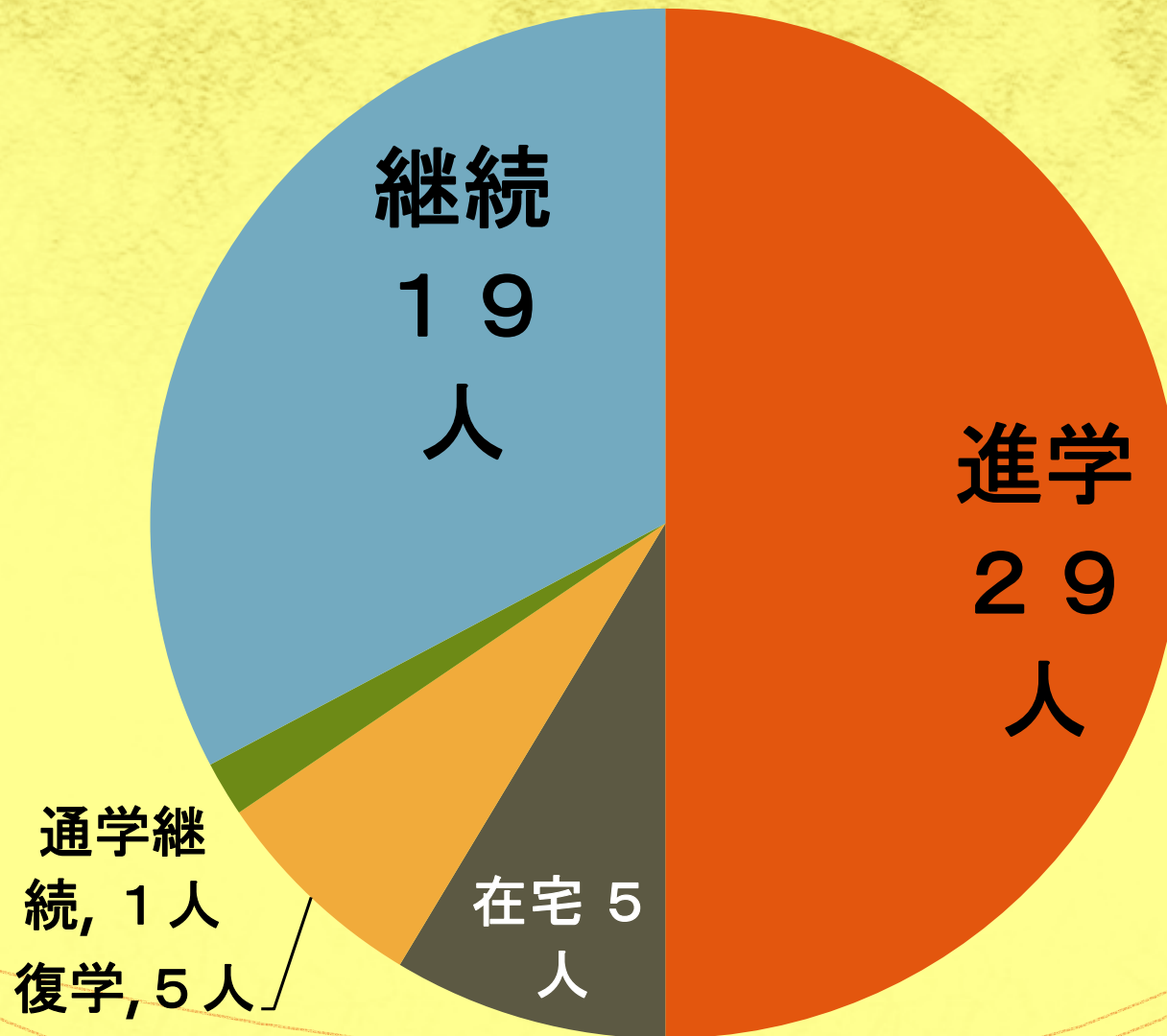


お年寄りと交流



# 終了者の進路

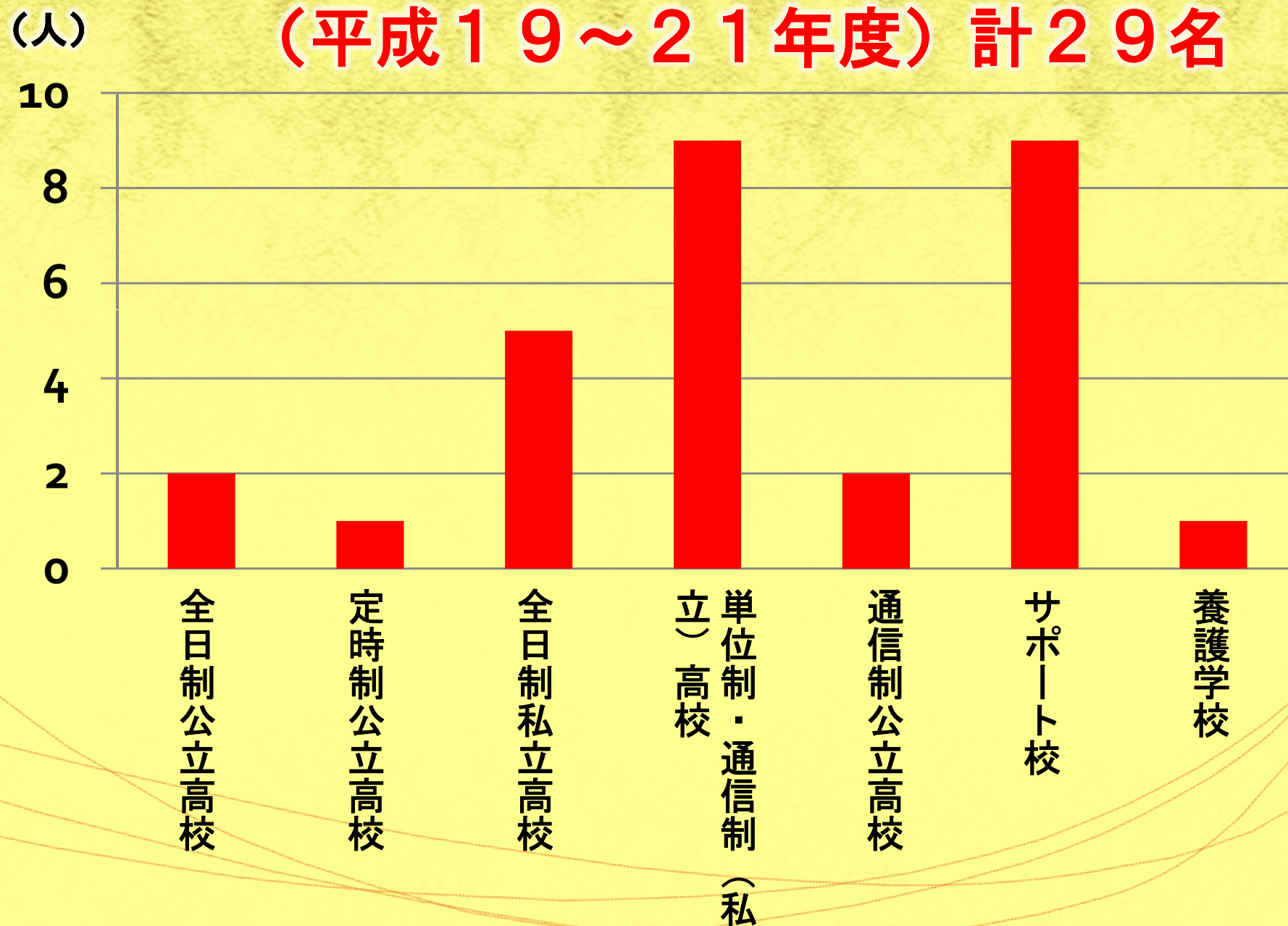
(平成19~21年度) 計58名





# 進学先の内訳

(平成19~21年度) 計29名



# 事例紹介

- Aくん（通所当時 中学2年生）
- 診断名：強迫性障害
- 状況：元来不安が高い。小4で父が癌で亡くなり，小5で友達に追いかけられたことを契機に不登校が始まる。手洗い強迫が出現。

通所期間：中学2年2月～  
中学3年3月卒業まで  
1年2ヶ月間





## 本人の目標

「デイケアのメンバーと気軽に話ができるようになりたい。」

- 緊張感が高く，人の視線が気になる。

**別室で個別対応**

- 母親の不安の軽減  
**個別面接**

## 診療方針

「圧倒されずに，同世代集団に入る。」

## デイケアスタッフ

- ・ 信頼関係作り
- ・ Aくんのペースにあわせた対応

# 変化があった点

- 母親との距離

通所当初，母子密着気味。距離を持ち，母親に意見を言えるようになる。

- 自分らしさの表出

趣味の話題や声優への憧れを話し始める。クリスマス会での司会やショートコントの披露。音楽クラブで「千の風に乗って」の独唱。

- 卒業後の自分をイメージ

「通信制だと週1日登校で，今と変わらない。同じ趣味を持った友人と出会いたい。」



# 【考察】 デイケア参加による子どもの変化

第1段階



第2段階



第3段階

心理面

- ・その場への安心感
- ・活動意欲のめばえ

- ・学習意欲のめばえ
- ・自信の回復

- ・信頼感の広がり
- ・興味の拡大

行動面

- ・生活リズムの改善
- ・体力の回復
- ・明るい表情

苦手な活動の参加

- ・通学回数の増加
- ・学習の習慣化

対人面

スタッフとの関わり

メンバーとの交流

- ・友達との交流
- ・先生とのつながり

# 支援のポイント

- 終了後を視野に入れた、目標の設定及び支援
- 変化の把握と適切な評価
- 有効なチームアプローチのための情報の共有
- 集団力動の有効活用





# 教育現場に生かすこと

- 早期発見， 早期対応の重要性
- クラスの一員として受け入れられる雰囲気作り
- 学校だけで抱えずに， 他機関との連携をとる柔軟性（医療機関， 相談機関）
- 親との関わり方





マスコットのカメ

ご清聴ありがとうございました

[http://www.pref.miyagi.jp/kodomo\\_s/](http://www.pref.miyagi.jp/kodomo_s/)

